

## 林業アカデミーふくしま短期研修に係る各種検討

令和 4 年度以降の林業アカデミーふくしま短期研修の実施に向け、

- ① 受講定員数の検討
- ② 研修日数の検討
- ③ 研修の開始・終了時間の検討
- ④ 短期研修ごと実施時期の検討

を行うことを目的に県内市町村にアンケートを実施した。

- ・ 対象：県内 5 9 市町村
- ・ 実施期間：1 1 月 2 5 日～1 2 月 2 4 日
- ・ アンケート回収率：4 1 市町村（回収率：69.5%）

# ① 受講定員数の検討

## 目標)

市町村林務行政職員のうち、概ね6～7割に相当する職員を目標に本研修に受講いただき、森林・林業に関する知識を習得いただく。(概ね6～7割とした理由は、業務の多忙さや役場内の諸事情により、参加できない職員も一定数いることが想定されるため)

1) 41市町村よりアンケートを回収。総職員数は119名。

全体の7割程度の市町村数のため回答を得られなかった自治体の林務担当職員数は総務省のデータより引用。

➡ 市町村林務行政職員数は**145名**

2) 145名の概ね6～7割に相当するのは94名(6.5割で計算)

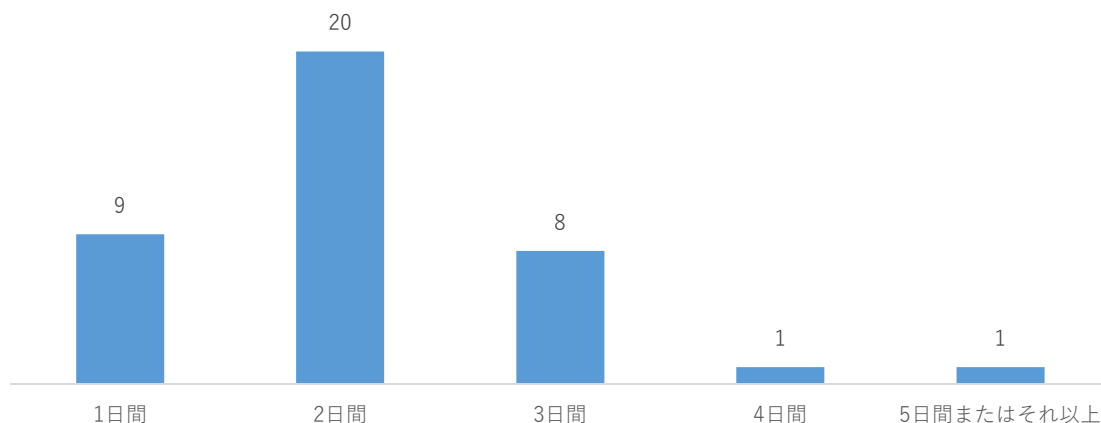
3) 市町村職員は3～5年で役場内を異動するとされ、94名が4年程度で入れ替わると想定し、新たに配属される職員に受講していただくとすると、 $94 \text{名} \div 4 \text{年} = 23 \text{名}$ となる。

4) 研修のグループワークは4～5名の班分けが多く、その直近の倍数20名を定員とする。

**短期研修の定員は20名で検討する。**

## ② 研修日数の検討

研修日数は最大何日まで参加可能ですか？



- ・参加可能最大日数は「1日間」から「3日間」全体の9割以上を占め、うち「2日間」が5割程度を占める。
- ・2日以上あるいは3日以上講義になると通常業務に支障が出る可能性があるとの意見が多数。

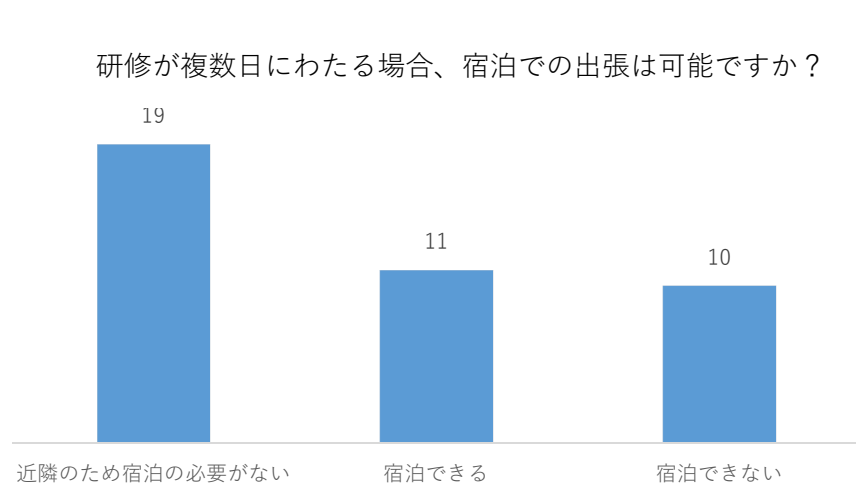
### 日数に関する意見

- ・日帰りでの研修会を検討お願いします。（昭和村）
- ・3日以上研修となると、他業務との兼ね合いがあり支障を及ぼす可能性がある～（下郷町）
- ・2日間以上の研修であると、繁忙期や研修日の一部が別の予定に掛かってしまうと参加できなくなるので、極力、研修時間を延ばしたり集約したりして1日にまとめたり～（二本松市）
- ・講義時間や日数など、長いほど参加しづらいため～（いわき市）
- ・講義日数が3日以上になると業務に支障が出てしまう。（白河市）
- ・3日間の研修は、担当業務への支障や車移動による体への負担が大きいのと考える。（棚倉町）
- ・林務を担当している職員が林務以外の業務のも複数行っているため、講義日数が3日以上になると業務に支障が出てしまう。（須賀川市）
- ・研修日数（時間）が長く、参加しづらい。（鏡石町）
- ・1回あたりの講義日数が多ければたしかに業務に支障は出るかと思いますが、日ごとの研修内容を細分化すれば1日だけ出ても研修効果はあるかと思えます。（只見町）
- ・講義日数が2日以上になると業務に支障が出てしまう。（林業外業務も兼務のため）（小野町）
- ・3日以上研修は日程調整が難しく参加しにくい。
- ・講義日数が3日以上になると業務に支障が出てしまうので1日ないし2日程度で計画して頂きたい。（楡葉町）
- ・講義日数が3日を超え、なおかつ宿泊での研修となると業務に支障が出る可能性がある。（会津美里町）
- ・講義日数が2日以上になると業務に支障が出てしまう。（南相馬市）
- ・講義日数が2日以上のもが多く、忙しい時期になると参加が難しい。（喜多方市）
- ・林務担当者が1人であるため、講義日数が連日となると業務に支障が生じてしまう恐れがある。（新地町）

市町村職員を主な対象者とする研修の日数は1～2日で検討

### ③ 研修の開始・終了時間の検討の前に…

○開始時間・終了時間は「宿泊」と「通い」どちらで検討すべきか？



#### 宿泊できない理由

- ・自動車での往復が容易であると判断されているため。（埴町：林研Cまでの移動時間1.5時間）
- ・移動距離等の要件により日帰り出張となるため。（棚倉町：同1.5時間）
- ・原則県内出張は宿泊を適用しない。（会津若松市：同1.75時間）
- ・日帰りが可能なため町から宿泊旅費を支払うことはない。自費での宿泊は可能。（西会津町：同2.5時間）
- ・開始時刻が9時前であれば宿泊可能。（双葉町：同2時間）
- ・原則県内出張の場合は日帰りという決まりになっています。（檜葉町：同2時間）
- ・原則県内出張の場合は日帰りという決まりになっている。（富岡町：同2時間）
- ・県内のため宿泊費用（旅費）の予算を計上していない。（喜多方市：同2時間）

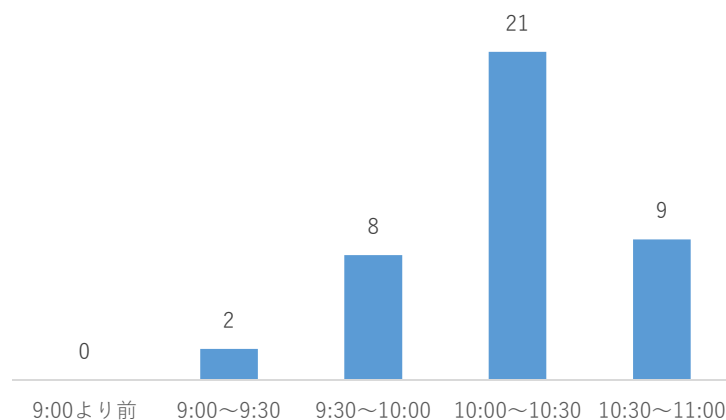
- ・「近隣のため宿泊の必要がない」、「宿泊できない」と回答した自治体が全体の7割を占める
- ・複数の自治体で自動車での移動が容易、原則日帰りとの決まりになっている。



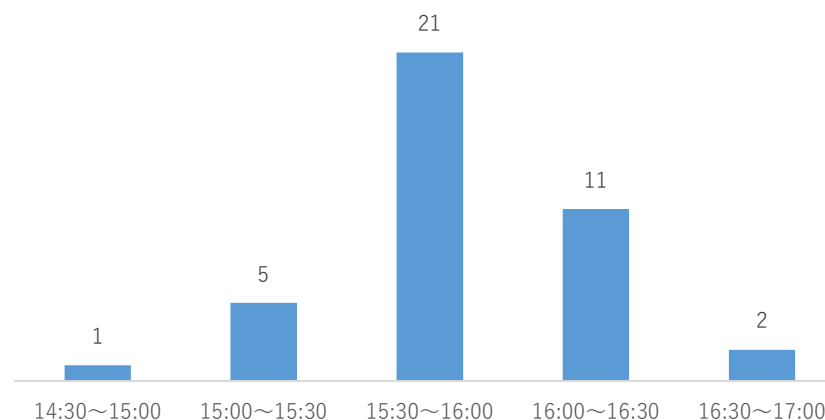
タイムスケジュールは**通い**を想定して作成する

### ③ 研修の開始・終了時間の検討

通いの場合の研修に参加しやすい開始時間・終了時間は何時ですか？



開始時間



終了時間

- ・開始時間は「9:30~10:00」から「10:30~11:00」全体の9割以上を占め、うち「10:00~10:30」が5割程度を占める。
- ・終了時間は「15:00~15:30」から「16:00~16:30」全体の9割以上を占め、うち「15:30~16:00」が5割程度を占める。



**開始時間「10:00~10:30」及び  
終了時間「15:30~16:00」**で検討する。

## ④令和4年度短期研修実施時期の検討

# 森林・林業の基礎

○5月12日～13日（2日間）の実施計画でアンケート実施

→参加希望27名（24市町村）

○アンケートでの主な意見

- ・受講対象者がいない（6市町村）  
→初任者配属になれば参加可能
- ・講座実施時期が適当でない  
→農繁期と重なっている。別業務により参加は難しい
- ・参加したい講座の内容でない（3市町村）
- ・その他（5市町村）  
→担当が変わった場合は参加希望したい  
R3年度参加しているため  
研修内容、研修日数が過大である  
用語の解説から始まるレベルの研修ならGW前に実施していないと、山林所有者と会話できないのでは？  
参加できるようにであれば1日だけ参加

## 実施時期に関する検討事項

- ・実施時期に関する意見として、「農繁期を避けること」や「GW前の実施」との意見が見られる。
- ・本研修は林業の初任担当者に向けた森林林業に関する基礎的な内容の講義であり、できるだけ早期に最優先で講義実施を検討する必要。

# 森林計画制度

○10月27日～28日（2日間）の実施計画でアンケート実施  
→参加希望35名（32市町村）

○アンケートでの主な意見

- ・日数が1日（半日）であれば参加したい。オンライン参加可能なら2日以上でも検討
- ・参加できるようにであれば1日だけ参加

○本年度研修実施の際の時期に関する意見（R3.6.7～8(13名参加)・R4.1.17～18(9名参加)実施)

- ・本研修の開催時期は早いほうが効果的だと感じる。（9月頃など）

## 実施時期に関する検討事項

- ・アンケートでは実施時期に関して具体的な時期はなし。
- ・本年度1月の研修参加者からは**早期の研修実施に関する意見**が見られた。
- ・本研修は**市町村森林計画や伐採届など、市町村の業務に密接に関わる内容の講義**であり、**できるだけ早期の研修実施が必要**。



# 森林整備事業の実務

○5月25日～27日（3日間）の実施計画でアンケート実施

→参加希望28名（25市町村）

○アンケートでの主な意見

・受講対象者がいない（3市町村）

・講座実施時期が適当でない（4市町村）

→農繁期と重なる。3日間空けるのは難しい

契約締結事務が立て続けに起こる時期と重なる

・その他（8市町村）

日数が1日（半日）であれば参加したい。オンライン参加可能なら2日以上でも検討

参加できるようであれば1日だけ参加

事業概要は時間をかけず、発注業務の実務について研修を受けたい

発注業務については指令前に習得している必要があるためできるだけ早期の実施が望まれる

○本年度研修実施の際の時期に関する意見（R3.7.5～7(13名参加)・10.11～13(7名参加)実施）

・積算システムについては5月頃に研修を行って欲しい

## 実施時期に関する検討事項

・実施時期に関する意見として、「農繁期と重なる」や「契約時期が立て続けに起こる時期と重なる」といった意見とともに、「できるだけ早期の実施」、「5月頃に行って欲しい」との意見が見られる。併せて、3日間は長すぎるとの意見も見られる。

・本研修は森林整備事業の発注に掛かる研修であり、できるだけ早期に研修を実施する必要がある。

・研修期間も可能な限り短縮し、出席者の負担を減らすことも検討。

# 森林経営管理制度の実務（市町村対象）

○6月21日～22日（2日間）の実施計画でアンケート実施  
→参加希望36名（31市町村）

## ○アンケートでの主な意見

- ・研修内容、研修日数が過大である
- ・日数が1日（半日）であれば参加したい。オンライン参加可能なら2日以上でも検討
- ・再生事業が主であるため森林経営管理制度展開の見込みが薄い

○本年度研修実施の際の時期に関する意見（「森林経営管理制度の実務Ⅱ」としてR3.6.24～25(20名参加)・12.20～21(17名参加)実施）

- ・特になし

## 実施時期に関する検討事項

- ・アンケート、研修ともに実施時期に関して具体的な意見はなし。
- ・本研修は市町村職員の業務に密接に関わる内容の講義であり、できるだけ早期の研修実施が必要。

# 森林経営管理制度の実務（事業体対象）

○事業体対象の講義。アンケート実施せず。

○アンケートでの主な意見

・アンケート実施せず。

○本年度研修実施の際の時期に関する意見（「森林経営管理制度の実務II」としてR3.6.24～25(20名参加)・12.20～21(17名参加)実施）

・特になし

## 実施時期の検討事項

- ・アンケート、研修ともに実施時期に関して具体的な意見はなし。
- ・事業体は本制度の担い手となる存在であるため、市町村対象研修とほぼ同時期に研修が実施される必要がある。

# 森林土木事業の実務

○6月9日～10日（2日間）の実施計画でアンケート実施  
→参加希望27名（25市町村）

○アンケートでの主な意見

- ・受講対象者がいない（6市町村）
- ・参加したい内容でない（4市町村）
- ・その他（5市町村）
  - 担当外のため
  - R3年度参加しているため
  - 研修内容、研修日数が過大である
  - 可能であれば5月中の開催が望ましい

○本年度研修実施の際の時期に関する意見（「森林土木事業の設計施工管理（前期）」として、R3.10.21～22(17名参加)実施）

- ・リーザの使い方が分からないので年度当初に研修行って欲しい。

## 実施時期に関する検討事項

- ・実施時期に関する意見として5月中など、年度当初に実施を求める意見が見られる。
- ・本研修は森林土木事業の発注に掛かる研修であり、できるだけ早期に研修を実施する必要がある。

# 測量・森林調査の基礎

○8月25日～26日（2日間）の実施計画でアンケート実施  
→参加希望19名（18市町村）

○アンケートでの主な意見  
・測量等技術はオーバースペックであるとする

○本年度研修実施の際の時期に関する意見（「森林土木事業の設計・施工管理（後期）」としてR4.1.11～12(5名参加)実施）  
・特になし

## 実施時期に関する検討事項

- ・アンケート、研修ともに実施時期に関して具体的な意見はなし。
- ・本年度2日間で実施したが、参加者の負担軽減等考慮し簡略化及び期間の短縮も検討。
- ・職員の測量の実施が増える来年度事業計画時期付近での実施を検討。

# 提案型集約化施業実践

○9月12日～15日（4日間）の実施計画でアンケート実施（基本的には事業体対象の研修であるが、市町村も参加可としている）

→参加希望7名（7市町村）

○アンケートでの主な意見

- ・別業務があるため4日間空けることが難しい
- ・期間が長いため参加したいが業務の都合上困難
- ・在籍期間が短く応用レベルに達していない
- ・日程が長い。細分化して単日出席でも効果のあるものにしてほしい
- ・現在の町役場に求められる業務としては優先度が低い

○本年度研修実施の際の時期に関する意見（R3.10.4～7(12名参加)）

- ・特になし

## 実施時期に関する検討事項

- ・アンケート、研修ともに実施時期に関して具体的な意見はなし。本年度の実施時期を参考に検討。
- ・可能な範囲で日程・タイムスケジュールを簡略化し、参加者の負担軽減を検討。

# 路網整備と作業システム（基礎）

○7月14日～15日（2日間）の実施計画でアンケート実施（基本的には事業者対象の研修であるが、市町村も参加可としている）

→参加希望10名（9市町村）

○アンケートでの主な意見

- ・在籍期間が短く応用レベルに達していない
- ・地域における効率的な施業方法等の計画には興味があるが路網整備については事業者で現場で法線修正等行っている
- ・当町では外注する内容である

○本年度研修実施の際の時期に関する意見（R3.8.2～3(25名参加)）

- ・業務が始まる前。5月頃。

## 実施時期に関する検討事項

- ・本年度実施の研修の際には業務が始まる前の5月ごろとの意見あり。

# 路網整備と作業システム（実践）

○事業体対象の講義。アンケート実施せず。

○アンケートでの主な意見

・アンケート実施せず。

○本年度研修実施の際の時期に関する意見（R3.10.25～29(6名参加)）

・特になし

## 実施時期に関する検討事項

・実施時期に関して具体的な意見はなし。本年度の実施時期を参考に検討。



# 森林林業でのドローン活用（基礎）

○7月27日～29日（3日間）の実施計画でアンケート実施  
→参加希望11名（11市町村）

## ○アンケートでの主な意見

- ・在籍期間が短く応用レベルに達していない
- ・森林整備事業の実施にかかる申請・検査の省力化には興味があるが研修日数が長い
- ・来年度参加できるようにであれば1日だけ参加
- ・当町では外注する内容である

## ○本年度研修実施の際の時期に関する意見（R3.1.26(14名参加)）

- ・特になし

## 実施時期に関する検討事項

- ・アンケート、研修ともに実施時期に関して具体的な意見はなし。本年度の実施時期を参考に検討。
- ・可能な範囲で日程・タイムスケジュールを簡略化し、参加者の負担軽減を検討。

# 最先端の林業技術

○令和5年1月23日～26日（4日間）の実施計画でアンケート実施  
→参加希望7名（7市町村）

○アンケートでの主な意見

- ・ 予算査定時期であり参加が困難
- ・ 在籍期間が短く応用レベルに達していない
- ・ 研修内容が過大である
- ・ 内容が高度で受講しても実務での活用が難しい
- ・ 来年度参加できるようであれば1日だけ参加
- ・ 当町では外注する内容である
- ・ 冬期間の研修実施はできれば避けてほしい

## 実施時期に関する検討事項

- ・ 新設の研修。業務の多忙さや冬期の移動の難しさを加味して日程を検討
- ・ アカデミーの備品を使用することから、長期研修生が備品を使用しない時期で検討
- ・ 可能な範囲で日程・タイムスケジュールを簡略化し、参加者の負担軽減を検討

# 安全な伐倒作業技術

○事業体対象の講義。アンケート実施せず。

○アンケートでの主な意見

・アンケート実施せず。

## 実施時期に関する検討事項

・新設する研修。講師との調整を行い日程を検討。

# 高性能林業機械の操作

○事業体対象の講義。アンケート実施せず。

○アンケートでの主な意見

・アンケート実施せず。

## 実施時期に関する検討事項

・新設の研修。アカデミーの備品を使用することから、長期研修生が備品を使用しない時期で日程検討